体外受精・胚移植のスケジュール

～GnRH ｱﾝﾀｺﾞﾆｽﾄ による誘発・採卵・胚移植

2018/05/21

大川産婦人科･高砂
Tel: 097-532-1135

大川産婦人科病院･末広
Tel: 097-536-3511

※点線 ■ ■ ■は
基礎体温を示します

事前に行う検査
- 基礎体温　子宮がん検診
- クラミジア検査
- 夫　精液検査

採卵前月 D3 検査
- 内診、超音波検査（胞状卵胞）
- 各 history よりＣＯＨ方法を決定
- ホルモン検査 E2 FSH LH（採血）
- 感染症 血液型検査(採血)
- 夫感染症の検査(採血)

××××× 月経

診察　月経が始まったら３日目までに受診してください。
超音波検査を行います。
（誘発を開始します）

ホルモン周期
前周期にピル（内服薬）を数週間服用して、月経を調節してから誘発を始める場合もあります.

～注意～
- 基礎体温の測定は胚移植後の妊娠判定まで続けて下さい

hMG 注射
（卵を育てる）

月経３日目から開始し、卵胞が育つまで(8～14日間ほど）連日注射します。この間、数日毎に超音波で卵胞の大きさを測定します。

hCG 注射
（卵を成熟させる）
採卵２日前に１回だけ

夜 22:30 に注射、約 36 時間後に排卵しますが、排卵が起きる前に採卵を行いますので、必ず定刻どおりに注射して下さい。

××××× 月経

ガニレスト皮下注
GnRH ｱﾝﾀｺﾞﾆｽﾄ；排卵を抑える）

- 卵胞が 16（-18）mm 程度に育ってから、採卵に充分な大きさに育ちきるまでの数日間（3-5 日）毎日注射します.
- 注射から翌日の注射までの時間があきすぎると,排卵を抑えきれない場合がありますのでご注意下さい.
- hMG 注射の前にガニレスト皮下注する
- 卵胞が直径 20-22mm の時点、hMG を中止、9am にガニレスト皮下注し、10:30pm に hCG を注射する。

採卵　hCG 注射 2 日後の朝 8:50 来院、9:30 当院手術室で採卵します。
静脈麻酔を使用し、手術後は 2 時間安静のため、帰宅できるのはお昼頃です。

新鮮胚移植　採卵の 2～5 日後
当院手術室
約 30 分から 1 時間安静後帰宅できます。
※新鮮胚では移植せずに凍結することもあります。

黄体補充（新鮮胚移植時）
（着床を助ける）採卵当日から妊娠判定まで

黄体ホルモン製剤
採卵直後プロゲステロン　50 mg 筋注
夕方よりプロゲステロン膣座薬1日 3 回挿入
同じ時期に内服1日1錠を併用
胚移植後更に各14日間追加

診察　OHSS の可能性がある方は採卵の約 1 週間後に超音波や採血を行います。

妊娠判定　胚移植の１２日後に外来受診、妊娠の判定をします。
妊娠が確認された場合は黄体補充を継続します。